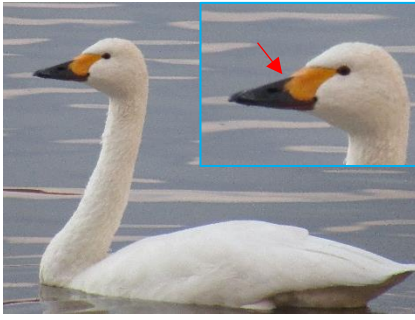


— 2021/11/23 バードウォッチング資料 —

2020/11/7 確認できた種

カモ目 カモ科



▲コハクチョウ

オオハクチョウとコハクチョウで、くちばしの黄色の面積が違います。

コハクチョウの方がオオハクチョウに比べて黄色の面積が少なく、体も一回り小さいです。また観察しているとコハクチョウの群れの中に亜種アメリカコハクチョウが混ざっていることもあります。くちばしがほぼ黒色で、黄色の部分はあるかないかくらいの面積です。

鳥屋野潟はコハクチョウが多く入ります。オオハクチョウはコハクチョウより遅い時期に来ます。

※オオハクチョウのくちばしがはっきり写っている写真がありませんでした。すみません。



▲ヒドリガモ♂



▲マガモ♂



▲ハシビロガモ



▲オナガガモ♂



▲コガモ♂

カモの他にもよく見られる野鳥



▲キジ♂



▲カンムリカイツブリ



▲キジバト



▲アオサギ



▲コゲラ



▲モズ



▲オナガ



▲ハシボソガラス



▲ハシフトガラス



▲シジュウカラ



▲ヒヨドリ



▲ムクドリ



▲スズメ



▲ハクセキレイ



▲カワラヒワ

野鳥 豆知識！

鳥類はくちばしがあっても「歯」がありません。ただカモ類のくちばしに注目すると櫛状の突起物のようなもの(板歯)があります。これで、水ごと吸い込んでもプランクトンなどだけをこしとってろ過して食べることができます。



わかりづらいですが、写真のコハクチョウにも櫛状のものが見えます！
しっかり見たい場合はハシビロガモのほうが見やすくおすすめです。

ものさし鳥たち



スズメ
全長14cm



ムクドリ
全長24cm

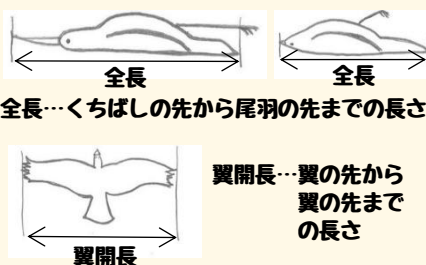


キジバト
全長33cm



ハシフトガラス
全長57cm

計測方法



キジ目キジ科

1 キジ

カモ目カモ科

- 2 コハクチョウ
- 3 オカヨシガモ
- 4 マガモ
- 5 カルガモ
- 6 オナガガモ
- 7 コガモ
- 8 ホシハジロ

カイツブリ目

カイツブリ科

- 9 カイツブリ
- 10 カンムリカイツブリ

ハト目ハト科

11 キジバト

カツオドリ目ウ科

12 カワウ

ペリカン目サギ科

- 13 アオサギ
- 14 ダイサギ
- 15 コサギ

ツル目クイナ科

16 オオバン

チドリ目カモメ科

17 カモメ

タカ目タカ科

18 トビ

ブッポウソウ目カワセミ科

19 カワセミ

キツツキ目キツツキ科

- 20 アカゲラ
- 21 コゲラ

スズメ目

モズ科

22 モズ

カラス科

- 23 ハシボソガラス
- 24 ハシフトガラス

シジュウカラ科

25 シジュウカラ

ヒヨドリ科

26 ヒヨドリ

ウグイス科

27 ウグイス

ムクドリ科

28 ムクドリ

ヒタキ科

29 シロハラ

30 ツグミ

スズメ科

31 スズメ

セキレイ科

32 ハクセキレイ

アトリ科

33 カワラヒワ

34 ベニマシコ

ホオジロ科

35 カシラダカ

36 アオジ

37 オオジュリン

もしかしたら…

ホオジロ

天気：曇り 風：無
気温：開始時 12℃/終了時 15℃
湿度：開始時 73%/終了時 64%